

こころ医療福祉専門学校佐世保校
令和3年度第2回教育課程編成委員会議事録

1 日時 令和4年1月30日（日）10:00～11:03

2 場所 こころ医療福祉専門学校佐世保校 3階 会議室

3 委員 出席：田中秀樹（長崎県柔道整復師会）
上田陽介（純心整骨院）
小柳翔生（小柳鍼灸整骨院）
館川大輔，森山麗央

（敬称略）

4 主な内容

（1）開会のことば（司会 館川大輔）

本会の開会目的及び配付資料の確認を行う。

（2）委員の紹介（司会 館川大輔）

各委員紹介及び本校職員紹介を行う。

（3）校長挨拶（校長 藤原善行）

① 日頃のお礼

② 本日の委員会の趣旨

ア 教育課程編成委員会について

（ア） 教育課程は本校のシンボルである。

（イ） 教育課程は他への学校の公約である。

（ウ） 新教育課程は現代社会や時代の流れ等を見据えた求められる人材像が示されることに意義がある。

（エ） 学校教育に携わるものは学生の実態に応じて具体化しなければならない責任がある。

③ 終わりに

（4）スポーツ柔整科の現状及び分科会報告（課長 館川大輔）

① 現状報告

ア オンライン授業の現状

新型コロナウイルスの影響により、令和3年度から常勤以外の教員が、リモート授業の対象となっている。大学と専門学校のリモート授業の違いとして、大学は事前録画が可能だが、専門学校は相互授業で実施する必要がある。教室

の学生に教員が離れたところで実施している。しかし、今までと異なった形式で授業を行う為、学生満足度が高いとは思えない。そこで、先生方にリモート授業をよりよくするために、意見を頂きたい。

上田) リモートしている側の教員にデメリットはないのか。

館川) 学生の反応がわかりにくい。教壇に立って授業をすると表情などがわかり、問いかけをした際、全員ではないが反応がみられる。しかし、リモートでは反応が伝わらず、どこまで伝わっているのか不明である。リモートでは不慣れな点や、教員によって授業の質に差が生まれている。

上田) 口頭だけか。ホワイトボードなど使っていないのか。

館川) 教員によっては口頭だけで授業を実施している。高校の教員経験者は自宅にホワイトボードなどを持ち込んでいる。パソコンが得意な教員はその場で打ち込みながら授業をしている。表情や顔色はわからないが、対面で実施する時と変わらない教員もいる。

上田) 授業形式について統一することはできないのか。

館川) 途中から方向を変えるのが難しい。今年度の振り返りとして、来年度の話をする時に提案を考えているが、どこまで実現できるかは分からない。

上田) 学生からの意見や、統一してほしいなどの声は上がっていないのか。

館川) そのような意見は上がっていない。教員別に要望・希望案は上がっている。

上田) 学生の立場から考えると、リモートの場合、教科書を読んで線を引いているだけなら、事前にカッコ埋めの小テストなどを作成し、授業中に解答・解説などを行ってはどうか。

館川) 予習の形を取り入れるということを参考にしたい。

田中) 私自身もコロナ渦になって、ズームでの勉強会や会議が増えた。教室にカメラを置き学生が小さく映っている状態と聞いている。そこで、机の上に携帯やパソコンなどを一人一台置いて、教員との距離が近い状態で実施するのはどうか。Wi-Fiや費用の面もあると思うが、コロナ渦でフリーWi-Fiも普及しているの、どのように考えているのか。

館川) 経費の問題になると思う。

田中) 個別でのズームが、学生の緊張感もあっていいと思う。やはり画面は小さいのか。

館川) とても小さい。カメラはあるが全体を映しているだけで、学生の出欠状況が把握できる程度である。

田中) 反応もわかりにくいとのことで、学校側の予算の問題もあると思うが、教員が学生のことを考えて、時代に応じて変化していく必要がある。

上田先生の質問と少し重なるが、教員は学生に対して成果を上げることが課題だと思うから、オンラインでは質問のやり取りが難しいため、教員に対する質問をあらかじめ準備し授業の最初に投げかけるのはどうか。時間のロスにもつながるのではないのか。

舘川) 質問できる環境ではあるが、質問が圧倒的に少ない。教員から質問を投げかけても、リモート授業では距離があるためなかなか質問がでない。上田先生の意見のように、より質問がしやすい環境を考えると、事前の質問案は、教員にとっても非常に行きやすいと思う。

田中) 質問に慣れていないと、質問の仕方がわからない学生がいると思うから、常勤教員がヒアリングしていく必要があると思う。質問をする学生は決まっているか。

舘川) 決まっている。予習形式や、質問箱などを設置し、事前準備は効果が高いと考えられる。リモート授業だけではなく、常勤の授業でも活用できる。

田中) パワーポイントは共有しているのか。

舘川) 共有している。

田中) 共有しているのであれば、板書をする手間が省ける。例えば、パソコンの操作が苦手な場合、常勤教員に資料を作ってほしいと頼まれたら可能なのか。

舘川) 可能ではあるが常勤教員の負担にはなる。

田中) 学生の成績面を考え、成果を上げるためには、1つの方法ではないか。

舘川) ゆくゆくは必要かもしれない。

小柳) 学生と教員のリモートを通じてのやり取りはできているのか

舘川) 一応やり取りはできている。しかし、急遽始まったオンライン授業により、各学生の手元にマイクなどの設備が整っておらず、質問する際に大きな声を出さないとマイクが拾えないため、活用できているわけではない。学生によっては授業後に、パソコンの前に行き質問を行っている。

田中) 授業後に質問をメールして、次の授業で質問に答えてもらうのはどうか。

舘川) よい方法だと思う。しかし、現時点では取り組みが弱いため、改善する必要がある。

田中) 非常勤講師のメールアドレスは学生に教えているのか。

舘川) 個人アドレスの為教えていない。

小柳) 常勤の教員が授業後に質問を回収し、非常勤講師へ経由することは可能ということか。

舘川) 可能である。

田中) オンライン授業と対面授業では成績の差は現れているか。

舘川) 学期末の試験でみると成績は低下している。しかし、オンラインでも小テストを実施しており、その結果については、差はみられていないと感じる。

田中) 教員によっても偏りがあると思うので、統計取ってみると課題が見え、効果が出るのではないか。

舘川) リモート授業により、評価が下がった教員もいるが、変わっていない教員もいる。何が効果的で、何が学生のためになるのかを考え、参考にしたい。

イ 国家試験対策について

現状として通常授業以外で、補講を行っているが、当時を振り返りどのよう

な対策をしていたか、また、高校生等の患者で流行っている対策の仕方など、先生方にアドバイスをいただきたい。

田中) 過去問をひたすら解いていた。現在、問題集は一冊何年分か。

館川) 10年分である。

田中) その問題集をやり込む形は変わらないのか。

館川) やり込むように指導をしている。しかし、国家試験の難易度は少し上がってきている。

田中) 私自身、一人で学習せずに友達と問題の出し合いなどしていたため、自然とチームになって戦っていた。現状はどうか。

館川) 一人で自習をする学生もいれば、複数人で集まって学校に来る学生もいる。学校側はあまり関与していない。

田中) 成績の差はあらわれないのか

館川) 一人で取り組む学生同士でも差が出る。複数で学習する学生の方が、悪いながらも少しずつ成績は上がっている傾向がある。さらに、勉強ができる学生が混ざること、成績は上がると思う。

田中) その時に集まったメンバーでクラスの雰囲気が変わってくるのではないのか。

館川) 来年度からの課題として、チームで行くと義務感や連帯感が生まれると予想できるため、偏りをなくすためにもチームの方がよいと思う。

田中) 一人が好きな学生もいると思うから、人間性などをみながら先生方が誘導していく必要があるのではないのか。

館川) 経過をみながら誘導を行う。

小柳) 学生時代に本気で取り組むまでに時間がかかり、自分自身は受験生(3年生)になってから頑張った。気持ちのスイッチが入るまで時間がかかると予想されるため、国家試験に合格した卒業生が1・2年生に対して体験談の講話を行うと、早めに意識ができるのではないのか。

館川) これまでの結果を見ていると、真剣に取り組む姿勢の差が顕著であった。だが、教員の言葉は素直に受け入れてもらえない。

小柳) 教員から言われると、また同じことかと捉えてしまうため、実際に乗り越えてきた先輩の方が素直に受け入れてくれるのではないのか。講話を行う卒業生は、ぎりぎり合格した者のほうがいいのではないのか。

館川) 成功例ではあるが、失敗例に近い話の方が良い。

小柳) 早期に先生の言葉を信じるのが望ましい。

田中) 卒業生からの講話は、高校ではすでに実施している。大学1年生の卒業生が在校生に向けて受験の経験談を行っている。

上田) 補講の内容はどうしているのか。

館川) 時期によって決めている。学生任せにはできないため、模試の結果から判断し、指導している。過去問の解き方として、春から夏にかけて4択の解き方を

教えている。自分で調べて添削し、覚えるツールを作らせるようにしている。
また、自習の形を取りながら、質問ができる環境を作っている。勉強の仕方の
仕組みと精神的な面で指導を行う方向をとっている。

ウ 社会人の学生募集

高校生に対する学生募集は、高校訪問時や部活でのつながりもあるため、募集
が行いやすい。教育訓練給付金は社会人に対して、メリットが大きい。しかし、
社会人に対しての募集が難しいため何か意見を頂きたい。

小柳) 教育訓練給付金が該当する場合の社会人経験は何年必要か。

館川) 2年である。

田中) アルバイトではだめか。

館川) 雇用保険を使っていれば可能である。

田中) 社会人で転職を考えている者はハローワークに行くと思うが、一つの窓口として
利用できないのか。また、インスタグラムのフォロワー数が多い卒業生などに宣伝
してもらうのはどうか。さらに、国道沿いの立地を活かして、垂れ幕などをするの
はどうか。

館川) インスタグラムに関しては、法的な問題があるため考慮する必要がある。ハロー
ワークを窓口にするのはいい案である。

小柳) 高校生は就職か進学で迷うこともあると思う。高校訪問をした際に、高校の先生
に制度の紹介をし、先生から生徒に就職後に利用できる制度があることを伝えても
らうのはどうか。

館川) 今まで取り組んでこなかったのでもいい案だと思う。

上田) 学生からの紹介はどうか。

館川) 在校生に対して周知は行っていない。3年生には他学科への進学の際に勧めている。
学校内への掲示物を増やすなど、外にばかり目を向けるのではなく、学校内でもア
プローチを行いたい。

田中) 現状の入学状況はどうか。

森山) 現時点では19名である。

田中) 社会人の割合はどうか。

森山) 3名である。

5 全体の質疑応答
特になし。

6 閉会のことば(司会 館川大輔)
以上で本委員会を終了する。